

■タイトルホルダー

一週前、調教時放馬により外傷を負いました。

そのことにより調教調整過程が狂ったことと、直前追い切りにて併せ馬で遅れる形になったことは少なからず関係しています。

しかし、放馬・外傷の件を関係者がメディア宛に隠蔽しなかったということでそこまで大きな影響を疑う必要はないとの判断です。

それよりも

- ①大外枠
- ②中央会場開催重賞で38連続馬券外の横山和が鞍上
- ③パンサラッサの存在

これらの要因が大きな割引材料となりそうです。

■エフフォーリア

蹄の負傷について

今回左前脚のみエクイロックスを装着しますが影響は軽微ととらえて構いません。

■クロノジェネシス

状態不安について

当初はボコボコに叩かれ大きな割引となるネタになる予定でした。凱旋門賞から戻った当初は馬体、毛艶など見るからに酷い状態でしたがここ2,3週で幾分良化し持ち直した形です。

しかしながら、調教内容からはそれなりの割引が必要かもしれません。

調教内容↓

昨年の有馬記念時とは雲泥の差です。

全体時計が 1 秒ほど遅くなり追走途中手前が戻ったりとチグハグ。

なによりノーザンしがらきから帰厩にも関わらず、追い切り量多いのが不安です。

前々走

ドバイ帰り後の宝塚記念時の調教内容もあまり良くなかったにも関わらず

1 着した馬なので消しとはいきませんが、状態面は間違いなく昨年より 3 割ほど落ちます。